

第2回 香取市子ども・子育て会議  
議事録要旨

日時：平成26年3月12日（水）15時～  
場所：香取市役所4階庁議室

1.開会

2.協議事項

(1) ニーズ調査結果の概要について

《事務局からの資料説明》

《質疑応答》

委員 小児医療の充実について、具体的にはどのようなことを望んでいるのか確認したい。

事務局 主な意見としては、夜間・緊急時、小児を診てくれる医療機関を望んでいる。また、距離の問題で、面積の広い自治体であることから、遠くて通えない、通うのが大変であり、特に夜間・休日の救急医療体制の充実を望んでいる。さらに、産科がない、総合病院の小児科が非常勤の医師で、市内にかかりつけ医を持っていないといった意見が寄せられている。

委員 入院可能な医療機関が香取市にないということ。もう1つは、千葉県は人口当たりの小児科医の数が全国で下から数えて10番目くらい。県内には、医師を養成する機関が千葉大学の医学部のみである。人口600万人でひとつというのは全国的に見ても稀にみる少なさである。東京都は人口1200万人で医学部を持つ大学は13ある。例えば、山陰2県と四国4県には医学部が6つあり、千葉県の人口は、山陰2県と四国4県を合わせた人口よりも多いのにもかかわらず、医学部がひとつしかない。これが南関東の特徴である。市内から入院をお願いする病院としては、旭中央病院と成田赤十字病院があり、この2つの病院は小児科で入院することは可能ではあるが、乳幼児の場合、入院に保護者が付き添わなければならない。これは保護者にとっては大きな負担になる。いずれかの病院で完全看護をやっていただきたいという希望がある。現状では、保護者が付き添えない場合には、遠方の病院に預けざるを得ない状況である。

会長 医療についてはたくさんの要望がニーズ調査であがっており、今後どのような対応を行うか計画に盛り込んでいく必要がある。なお、事務局への質問として、前回は同様の調査を実施しており、前回と比べてどのような傾向があるのか把握できているのなら確認したい。

事務局 現段階では、前回調査との比較分析に至っていない。前回調査からどのような変化が見られるのか、集計した結果について、次回会議以降に示させていただきた

い。

会 長 保育園の利用開始が徐々に低年齢化している状況のほか、一時預かりや病児・病後児保育の利用意向が増えてきているのではないかと感じており、5年程度の間ではあるが、保育サービスが徐々に浸透し、利用ニーズも変化してきているのではないか。そのような変化の有無がデータとして分かるものがあれば示してもらいたい。また、子育てのしやすさに対する評価について、地域の偏りがあるのかどうかを確認したい。子育て支援センターの配置状況や、一時預かりの利用できる場所の立地などでの違いについて、分析できるようにお願いしたい。

(2) 計画骨子案について

《事務局からの資料説明》

《質疑応答》

会 長 計画はいつ頃をめどに取りまとめる必要があるのか。

事務局 国から示されたスケジュールによると、各事業の量の見込みと提供体制の確保については、9月末までに計画をほぼ取りまとめる必要がある。10月から、新制度の基づく申請手続きがおおむねスタートする予定であり、平成27年4月からの新制度のスタートに向けて、おおむね10月からその手続きが始まることから、9月末までに計画のとりまとめを終えておく必要がある。

委 員 幼稚園も保育園もまったく利用していない方が2割程度いる。幼稚園等は義務教育前に集団生活を学ぶ場でもあり、集団の中での我慢などいろいろな経験が得られる場であるので、幼稚園も保育園も利用しない2割のご家庭について心配である。

会 長 資料には、年齢ごとの利用状況等のデータはあるのか。

事務局 ご意見については、現在、平日に定期利用している施設の状況について、「いずれも利用していない」という方が2割程度いることについてのご指摘だと思うが、年齢ごとの集計結果も資料に記載しており、3歳未満児については55%が「いずれも利用していない」と回答している。3歳以上児については7.7%が「いずれも利用していない」と回答している。今後の利用については、「利用する必要はない」との回答は4.5%となっており、この割合すべてが幼稚園や保育園を利用せずそのまま小学校に入学する割合であるとは言い切れないが、そのような方も含まれている可能性があるということである。

会 長 できれば年齢ごとの就園状況をデータで示してもらいたい。

委 員 ニーズ調査結果について、明らかに不満が出ている部分について、例えば、子育ての情報が得にくい、保育サービスが不足しているとの割合が比較的高い結果となっているが、不足しているのではなく、情報の伝達手段に問題があるのではないか。実際には行われているサービスを知らない、情報を得られていないというケースが含まれているのではないか。例えば開放保育について、保育園に通って

いない保護者には伝わっていない場合もあるのではないかと。現在は市の広報などには載っているのかもしれないが、伝わらないとすれば、母子手帳の受け取りや出生届の際に、希望者にメールマガジンなど、メールで情報を届けるようなサービスができれば、いまの保護者は情報を見らと思う。現状の問題は、サービスが行われていないのではなくて、伝え方に問題があるのではないかと。

委員 開放保育は、保健センターや子育て支援センターにチラシの設置、地域のお店にポスターを掲示したりはしている。

会長 香取市内には、子育て支援センターや児童館での活動、民間で独自に子育て支援のサービスをされているところもあり、いろいろな活動はあるが、おおむね紙ベースの情報について、市役所や区事務所などへの設置やポスターを掲示することは行われているが、メディアを使って情報を流すまでには至っていないのではないかと。

事務局 ご意見はもつともだと思ふ。なお、今回の会議は、ニーズ調査を実施した結果についてご報告することが目的であり、今後さらに分析をして計画に反映していくことになる。

会長 このニーズ調査結果を受けて、計画策定に入っていくという段階であり、計画を作り上げる段階で、まだ本会議に諮るということになるのか。

事務局 今年度は、今回を含めて計4回の会議を予定している。

会長 今後、計画を立案していく中で、このようなことを実施してはどうかといった意見を聴く機会もあると思ふ。今回の資料をよく読み込んだ上で、計画づくりに入っていきたい。そのほか質問等がなければ、協議はこれで終了とする。

### (3) その他

事務局 次回の会議まで時間があるので、今回の資料についてご意見・ご質問等があれば、子育て支援課まで連絡をいただきたい。また、先ほどご指摘のあったニーズ調査の集計結果については、出来次第、委員の皆様にお知らせする。

以上